

介護老人保健施設 しおさい

症例概要 利用者氏名：C・M様 70代 女性

病名：パーキンソン病・腰椎圧迫骨折

利用サービス：通所リハ

経過：平成20年にパーキンソン病の症状が発症し、当初は病院へ通いながらの治療でしたが、平成27年9月に第一腰椎圧迫骨折にて入院。入院中起き上がりは介助、歩行もシルバーカー使用にて50m程。精神機能面にも病気への不安などから自発性も低下。家族よりリハビリ希望がありしおさいを利用される。

内 容

平成27年11月から週2日の通所リハをご利用となりました。入院してからは身体が意識的に動きにくいうえ、病気への不安も重なり、さらに自発性も低下。退院後も自発的な行動もなく、ご自宅では立ち上がりや、歩き初めに力がいらないなど、体も動かす不安もあり離床時間が減少してきてしまっていた。

当初、施設では、ご利用前日に転倒され立ち上がれないなどのことがあり、歩行に対して大きな恐怖があることから車椅子にて対応。また、排泄時・入浴時の短い距離の移動に関しては手すりを使用し職員がついての歩行介助を行い徐々に歩行への恐怖を取り除くようにしました。

離床時間が極端に少なくなってしまう対策については、小学生時代からずっと続けていた趣味の水彩画を取り入れ、ご利用者ご自身が先生役となりレクリエーションの中心となる事で、ご利用中の離床時間の大幅な延長につなげる事が出来ました。

また、ご利用されてから徐々にADLも向上し、当初は車椅子での生活でしたが、徐々に歩行での生活となり、最終的には自宅内では杖使用無しで歩行可能に、またご利用中も杖のみの歩行が可能になるまでの回復が見られ生活動作もご自身で実施するなど大きく変化いたしました。

ご家族からは「ここまで自分のことをできるようになるとは思わなかった。しおさいを選んで本当に良かった」と感謝の言葉をいただきました。

当初は要介護3でしたが平成30年には要介護1と改善され 今ではこれからの人生を趣味の水彩画を楽しんだり、これからも旦那さんと一緒に生活していきたいと頑張っています。